



目黒 公郎

防災に貢献する魅力あるビジネスを一緒に考えませんか？

防災ビジネスの創造と育成のための特別研究会

RC-63

1. 代表幹事

目黒公郎（東京大学 生産技術研究所 教授）

幹事

加藤佳孝（東京大学 生産技術研究所 准教授）

大原(吉村)美保（東京大学 生産技術研究所 准教授）

委員

遠藤貴宏（東京大学 生産技術研究所 助教）

秦 康範（東京大学 生産技術研究所 研究員）

近藤伸也（人と防災未来センター・主任研究員）

連絡先

目黒公郎

Tel : 03-5452-6436

Fax : 03-5452-6438

e-mail : meguro@iis.u-tokyo.ac.jp

tmina@iis.u-tokyo.ac.jp

moda@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

わが国は、地球科学的な立地条件を背景に、実に様々な自然災害の多発する地域に存在している。特に最近では、活動期に入ったといわれる地震をはじめ、風水害や環境悪化の危険性の高まりが指摘され、わが国の自然災害リスクへの内外の関心が高まっている。このような状況の中で、将来の災害の影響を最小化するには、行政による防災対策だけでは不十分なことは言うまでもない。

このような状況を背景に、政府中央防災会議も民間活力を利用した防災力の向上、防災ビジネスの支援、防災対策を国民運動につなげる仕組みづくりなどを検討し始めている。しかし実績的にはまだまだ不十分であり、この状態を改善するには、大学研究者の参入が不可欠と思われる。そこで大学と産業界が協働し、双方の知恵と資源を有効活用し、防災対策の向上を実現する新しい魅力ある防災ビジネスの創造と育成をめざす研究委員会を設立することにした。

本委員会では、大学研究者と防災ビジネスに興味を持つ企業が協力し合って、災害による将来の被害を最小化する環境整備を目的とした研究と活動を実施する。具体的には大学研究者と参加会社が相互に防災技術に関する情報を交換するとともに新しい防災ビジネスを展開する上での技術的・制度的課題の抽出と分析を行う。そしてその結果に基づいて解決策を検討・提案し、さらにその解決策を産学協働の新しい防災ビジネスモデルにつなげ、育成するための戦略を考える。

防災に適用可能と思われる技術をお持ちの企業の皆さん、アイデアはあるがそれを実現する術に困っている企業の皆さん、大学の研究者と知恵を出し合って将来の減災に貢献する魅力的な防災ビジネスを展開する方法を考えませんか。

3. その他

期 間 : 原則として平成20年4月～平成22年3月までの2年間とする。

年会費 : 1社当たり10万円/年とする。

※特別研究会は賛助員を対象にしていますので、未入会の場合は同時入会が必要です。(賛助会費一口10万円)

定 員 : 特になし

運用方法 : 大学研究者と参加会社が相互に防災技術に関する情報を交換するとともに新しい防災ビジネスを展開する上での技術的・制度的課題の抽出と分析を行う。そしてその結果に基づいて解決策を検討・提案するとともに、その解決策を産学協働の新しい防災ビジネスモデルにつなげ、育成するための戦略を考える。年5回程度の全体会以外に、いくつかのテーマでWGを形成し活動を行う。